



2026 年第 2 四半期および上半期の外国人延べ宿泊者数の状況(速報値)

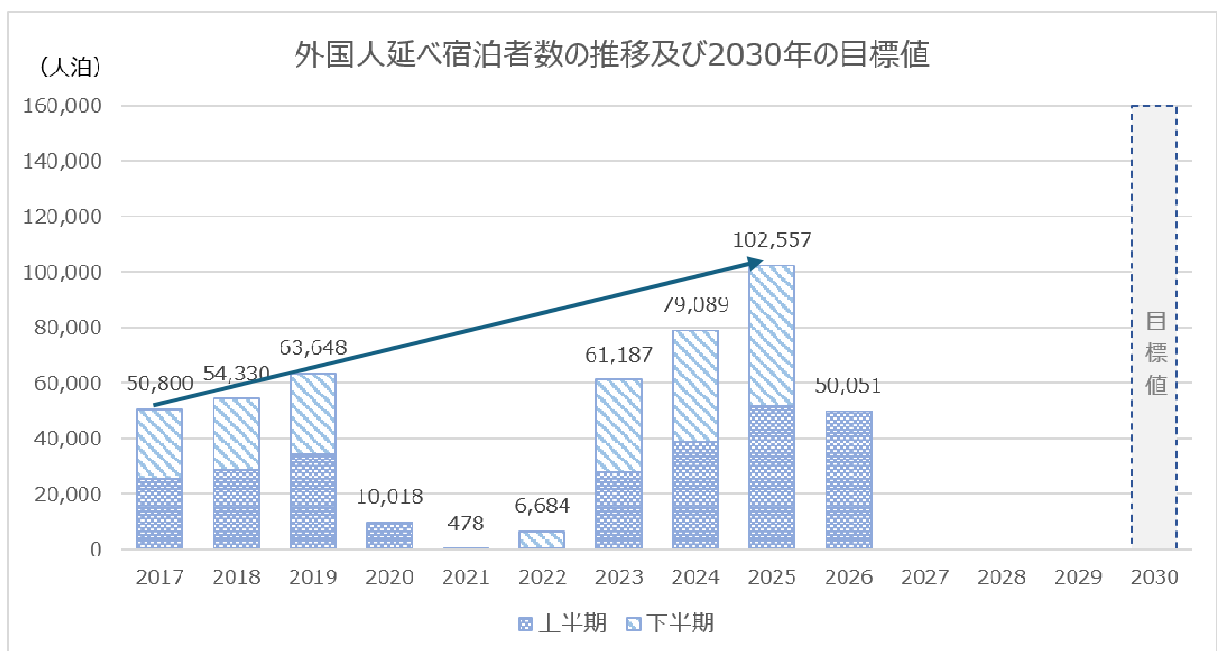
～上半期は前年同期を下回るも、2030 年目標に向けて着実に増加傾向～

市内の各観光協会および城崎温泉旅館協同組合に協力を得て、外国人延べ宿泊者数を調査したので、その結果をお知らせする。

1 外国人延べ宿泊者数の推移

(1) 実績と目標

ア 本市の外国人延べ宿泊者数は、新型コロナウイルス禍を除き 2017 年以降一貫して増加傾向にある。



2 2026 年第 2 四半期及び上半期外国人延べ宿泊者数調査概要

(1) 調査期間

2026 年第 2 四半期（4～6 月）および上半期（1～6 月）

(2) 調査方法

市内の宿泊施設を対象に、調査票により調査

3 調査結果

(1) 市内地域別

ア 第2四半期の市内の外国人延べ宿泊者数は23,522人泊で、前年同期比18.3%減となった。

イ 上半期は50,051人泊で、前年同期比3.2%減となった。

ウ 日高地域は、ウインターシーズンから継続して台湾やタイなどアジア圏からの来訪者の増加が顕著であった。

エ 全国における訪日外客数の前年同期比は、第2四半期5.3%減、上半期2.0%減となった。（日本政府観光局（JNTO）「訪日外客統計」による）

【第2四半期】

（単位：人泊）

地域	2026年 4～6月 (ア)	2025年 4～6月 (イ)	2025年比 増減率 (ア-イ)/イ	2024年 4～6月 (ウ)	2024年比 増減率 (ア-ウ)/ウ
豊岡	872	1,944	△55.1 %	1,058	△17.6 %
城崎	20,319	24,368	△16.6 %	17,098	18.8 %
竹野	261	503	△48.1 %	117	123.1 %
日高	2,051	1,960	4.6 %	1,713	19.7 %
出石	0	0	—	0	—
但東	19	24	△20.8 %	50	△62.0 %
計	23,522	28,799	△18.3 %	20,036	17.4 %

【上半期】

（単位：人泊）

地域	2026年 1～6月 (ア)	2025年 1～6月 (イ)	2025年比 増減率 (ア-イ)/イ	2024年 1～6月 (ウ)	2024年比 増減率 (ア-ウ)/ウ
豊岡	2,114	3,499	△39.6 %	2,116	△0.1 %
城崎	40,480	43,129	△6.1 %	32,276	25.4 %
竹野	474	782	△39.4 %	317	49.5 %
日高	6,941	4,212	64.8 %	4,308	61.1 %
出石	0	0	—	0	—
但東	42	68	△38.2 %	122	△65.6 %
計	50,051	51,690	△3.2 %	39,139	27.9 %

(2) 月別

2025 年比増減率は、4 月 24.7%減、5 月 9.9%減、6 月 19.0%減となった。

(単位：人泊)

月	2026年 (ア)	2025年 (イ)	2025年比増減率 (ア-イ) / イ	2024年 (ウ)	2024年比増減率 (ア-ウ) / ウ
1 月	8,605	7,615	13.0 %	5,179	66.2 %
2 月	9,528	6,714	41.9 %	6,447	47.8 %
3 月	8,396	8,562	△1.9 %	7,477	12.3 %
4 月	9,468	12,579	△24.7 %	8,720	8.6 %
5 月	9,062	10,056	△9.9 %	6,851	32.3 %
6 月	4,992	6,164	△19.0 %	4,465	11.8 %
計	50,051	51,690	△3.2 %	39,139	27.9 %

(3) 市場別

ア 第2 四半期の市内の市場別外国人延べ宿泊者数の上位国は、アメリカ、台湾、イギリスの順となったが、前年同期比で、台湾のみ増加した。

イ 上半期は、台湾、タイが増加したが、欧米豪や中国を中心に一様に減少した。

ウ 欧米豪5 市場（アメリカ、イギリス、ドイツ、フランス、オーストラリア）の成長率は上昇傾向である。

【第2 四半期】

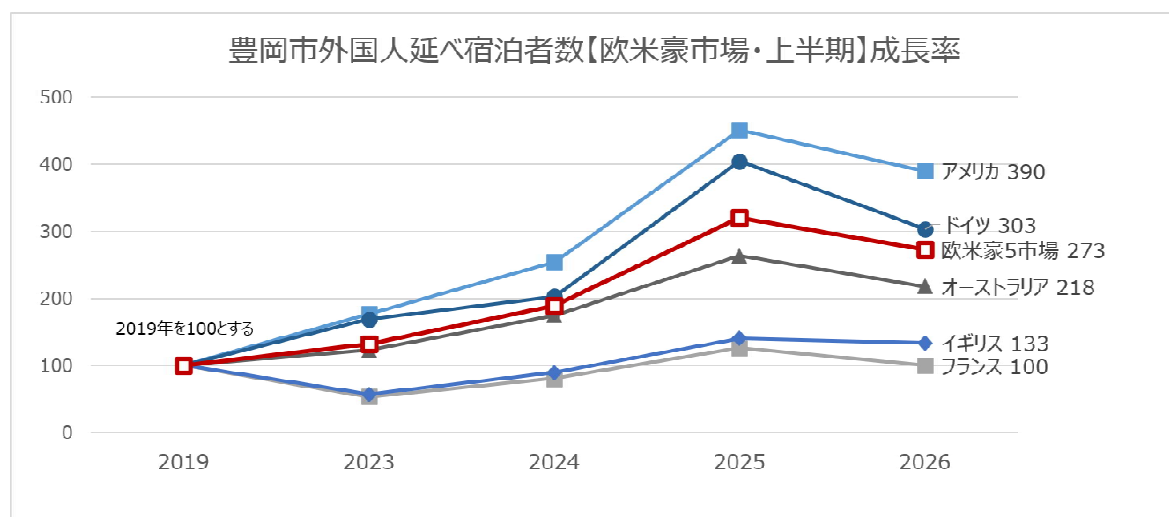
(単位：人泊)

上位10市場	2026年 4～6月 (ア)	2025年 4～6月 (イ)	2025年比 増減率 (ア-イ) / イ	2024年 4～6月 (ウ)	2024年比 増減率 (ア-ウ) / ウ
アメリカ	5,644	7,078	△20.3 %	3,778	49.4 %
台湾	3,252	3,060	6.3 %	3,188	2.0 %
イギリス	1,255	1,416	△11.4 %	815	54.0 %
カナダ	1,187	1,489	△20.3 %	911	30.3 %
オーストラリア	1,173	1,793	△34.6 %	1,207	△2.8 %
香港	957	981	△2.4 %	1,550	△38.3 %
フランス	901	1,357	△33.6 %	828	8.8 %
ドイツ	807	1,218	△33.7 %	578	39.6 %
中国	673	1,007	△33.2 %	841	△20.0 %
タイ	618	1,163	△46.9 %	943	△34.5 %
その他	7,055	8,237	△14.3 %	5,397	30.7 %
計	23,522	28,799	△18.3 %	20,036	17.4 %

【上半期】

(単位：人泊)

上位10市場	2026年 1～6月 (ア)	2025年 1～6月 (イ)	2025年比 増減率 (ア-イ) / イ	2024年 1～6月 (ウ)	2024年比 増減率 (ア-ウ) / ウ
台湾	10,169	7,873	29.2 %	8,818	15.3 %
アメリカ	9,426	10,903	△13.5 %	6,139	53.5 %
タイ	3,607	2,703	33.4 %	2,305	56.5 %
オーストラリア	2,570	3,111	△17.4 %	2,061	24.7 %
香港	2,472	2,698	△8.4 %	3,720	△33.5 %
中国	2,083	2,986	△30.2 %	2,211	△5.8 %
カナダ	2,071	2,516	△17.7 %	1,439	43.9 %
イギリス	1,954	2,056	△5.0 %	1,302	50.1 %
シンガポール	1,523	1,698	△10.3 %	1,620	△6.0 %
フランス	1,462	1,844	△20.7 %	1,181	23.8 %
その他	12,714	13,302	△4.4 %	8,343	52.4 %
計	50,051	51,690	△3.2 %	39,139	27.9 %



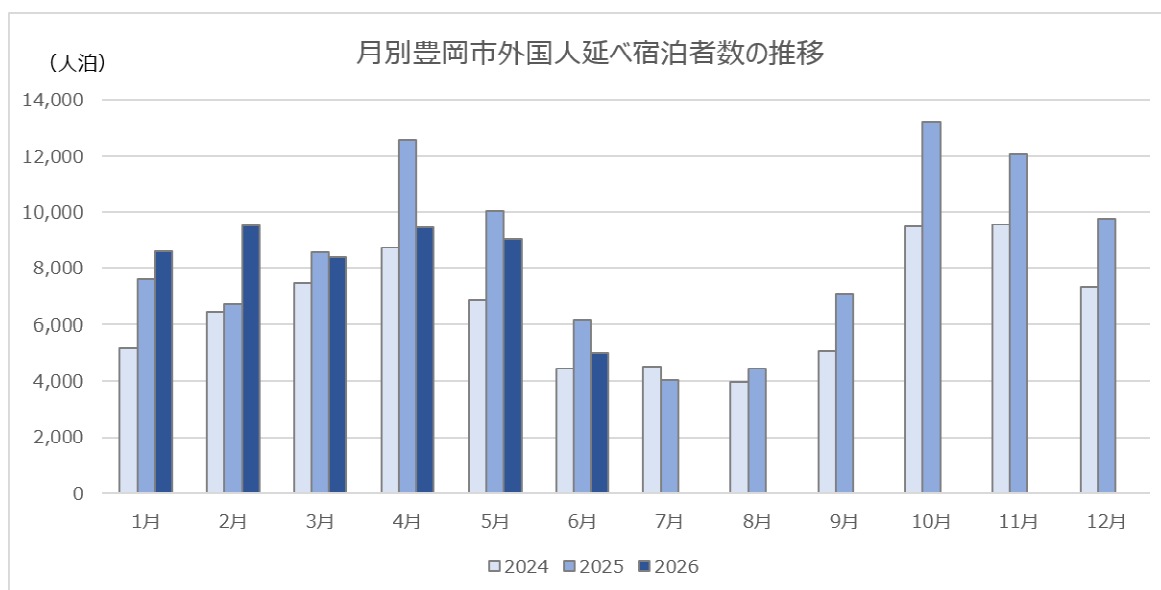
4 調査結果を踏まえた考察

(1) 宿泊者数増減の要因および動向分析

2026 年 4 月から 6 月の外国人延べ宿泊者数は、前年比で減少したものの、2024 年と比較すると増加傾向を維持している。

減少の主な要因は、前年の急激な成長に対する反動減と考えられる。2025 年は桜シーズンとイースター休暇（※）が連続したことで訪日需要が継続し、本市への来訪者も急増した。一方、2026 年は訪日需要全体が落ち着きを見せ、前年のような特需は沈静化したためと考えられる。

※キリスト教における最大の祭りである「復活祭」に関連する休暇。毎年日付が変わり、早ければ 3 月下旬、遅ければ 4 月下旬となる。



(2) 今後の対応

不安定な中東情勢や燃油サーチャージの高騰に伴う渡航費の増加など、訪日旅行市場を取り巻く外部環境は依然として厳しい状況にある。本市としては、これらの動向を注視しつつ、引き続き、欧米豪をはじめとする英語圏市場を重点ターゲットに据えた旅マエ、旅ナカのプロモーションや、受入環境整備に取り組む。

具体的には、一般社団法人豊岡観光イノベーションが運営する外国語版観光情報サイト「Visit Kinosaki」における継続的なコンテンツ更新や、WEB 広告を活用した情報発信、現地のメディアや旅行者などへの継続的なアプローチ（セールス活動）、現在行っている宿泊予約者へのメールマーケティングの磨き上げを行う。

また、第 2 四半期は京都市の外国人延べ宿泊者数と相関があることから、京都や大阪で訪日外国人向けに実施している城崎温泉の紹介カード配布を引き続き行うなど、日本滞在中の立ち寄り地としての認知拡大にさらに力を入れていく。

これらの取り組みを通じて、旅マエ、旅ナカにおける新たな顧客の獲得につなげる。

〔問合せ〕 産業経済部観光政策課 TEL0796-21-9016(直通)

担当 一幡（内線 2331）